



とにかく広い場所が必要です。今回はとにかく色にこだわったのでブロード。なんていっても色数豊富ですから。これも言ってしまえば好みなんですけど自分で「これ」と決めた絵を一枚決めてそれに従った方がいいです。いろいろ見ると決心がぶれる。



そういう意味できっちりとしたイラストから蝶の絵をを抜いてきたものを数パターン用意します。

よく探したら、だいたい蝶の位置、向きは同じとわかりました。ここは必死になって資料集めるところよ。



アクリル絵の具を使用。アクリルガッシュでも今は「和風」色シリーズが出ているらしい。二色塗り分けで縁取り入り。最上級の仕上げです。これをざっと20匹。丸三日かかったよ。



緑の模様を入れていきます。これはどうしようもないのでアップリケ処理。大面積塗ったらムラになるし、ミシン目が入ってしまうけどなるべくきれいに、目立たないようにしないと。本当は奥まつり縫いで止めていけたらベスト!!ってやってらんねー。(蝶にここまでこだわったならやれよと言われそう。。。)



袖も同様に仕上げる袖口の内側が緑色に見えるので、袖口布として同色の布を内側でまつりつけます。



あとは普通に浴衣の要領で仕立てていきます。男なので身八つ口ではなく人形しあげ、おはしょりはありませんので注意。



完成、女性はウエスト位置でなく、腰骨の位置で帯をしてください。  
でないと「くびれのある色っぽい高杉」になってしまいますよ。。。



高杉の着付けとしては前をガバッとあけたいところだけどインナーの問題が、ねえ。